



インスピレーションになろう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2019.4 / vol. 10

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所

〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F

TEL:0956-37-2740 FAX:0956-37-2741

E-mail: ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp



北松浦RC 創立50周年記念式典 (2019年2月16日(土) 佐世保市)

ガバナー ロータリー情報

ライラの歴史

ライラの正式な名称は「Rotary Youth Leadership Award」(略称 RYLA)、日本語訳では「ロータリー青少年指導者養成プログラム」となっております。

1959年、オーストラリアのクイーンズランド州は自治権獲得100周年を祝うこととなり、エリザベス女王がアレクサンドラ王女を名代として派遣されました。この機会に、王女と同世代の青年達を招いて100周年記念式典に参加させ、意見交換をさせるという計画が持ち上がりました。そして、ブリスベンロータリークラブが全豪から集まってきた青年リーダー達のホストを務めました。これらの青年達の資質の良さに感心したブリスベンロータリークラブは、この催しを毎年行う事を決め、地区の各クラブより2名ずつの青年をブリスベンに招待し、1週間、文化、社会、教育のプログラムに参加させることにしました。これがライラの起源で、ライラは第260地区で生まれました。

その後、このような催しがオーストラリアやニュージーランドで盛んになり、アメリカ、カナダを始め世界の各地に広がって国際ロータリーは、1971年に青少年奉仕に関する公認プログラムにいたしました。

ライラの主旨は、ライラに参加する若い人達がロータリアンとともに学び、若者の心の中に潜在している指導者としての素質を十分に引き出し、育成助長し、あわせて生涯を正しく幸せに生きて行くために、立派な人間性を創造することです。

第2740地区では、第1回のライラは国際ロータリー創立75周年の地区記念事業として、当時の新家忠男パストガバナーが実行委員長となり1980年5月、長崎県西彼杵郡大瀬戸町の「しんわ森の家」で開催されました。私も佐世保RCの会員として参加いたしました。この時は2泊3日でしたので、1日目と2日目は青雲学園理事長 速見雄吉様、長崎県総務課長 寺田精介様、ボーイスカウト日本連盟 柴田常雄様他の方々の講話が行われ、最終日の3日目は海上自衛隊護衛艦隊の体験航海、海上自衛隊佐世保地方総監 杉浦章義様の講話が行われ、無事終了しました。

その後、このライラは地区行事に採用され、今日まで地区内の各クラブの持ち回りによって続けられ、今年度が第40回のライラとなっております。

「ローターアクト」「インターアクト」「国際青少年交換」は国際ロータリーの事業ですが、ライラはこれらの事業と違い地区が行っている事業です。

青少年育成には大変役に立っている事業ですので、これからも続くことを希望しております。

CONTENTS

- 「全国RYLA研究会」の報告…………… 2
- 補助金管理セミナー報告…………… 2
- 唐津中央RC創立25周年記念式典…………… 3
- 北松浦RC創立50周年記念式典…………… 3
- IM開催報告…………… 4
- ハワイ短期留学プログラム 第1回オリエンテーション…………… 6
- ロータリー文庫通信…………… 6
- 逝去会員、新会員紹介、寄付者紹介…………… 7
- ロータリー国際大会のご案内…………… 8

「全国RYLA研究会」の報告

RYLA地区委員長 山口 宏二 (長崎RC)

去る、2月3日(日)、第11回全国RYLA研究会が、昨年に続き神戸にて開催されました。当2740地区から私と本年度開催予定クラブである島原南RC本多 進実行委員長、又、オブザーバーとして野口清パストガバナーの3名にて参加いたしました。

本研究会のテーマは「Let's challenge RYLA RYLAにチャレンジしよう!!」です。又、開催目的については、RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム) は、地域社会、国際社会に奉仕する青少年のリーダーを養成することですので、この養成プログラムに対する認識を深めることが目的です。参加者については、RYLA学友など卒業生の支援を受けながら活発に活動している近畿、首都圏を中心に国内約150名の参加にて開催されました。

現在RYLAは、各々の地区で独自の運営形態にて開催され、統一規格というものはありませんし、開催されていない地区もあります。この研究会の分科会の中で情報交換を行いながら、各々の地区が青少年にとって参加してよかったと感じてもらえるRYLAを開催できれば、本研究会参加の意義があると考えます。

2740地区では、地区内に確固たるRYLA委員の組織はなく、グループごとに毎年開催クラブが移行する運営形態が今年で40回続いています。全国的にみれば、この運営形態をRYLAと呼ばれるに足る基本的要素という観点から疑問視する向きもありますが、私は、先人の方々の努力により40年の長きに渡り継続していること、又、開催する過程でホストクラブが活性化すること並びにその開催地ならではの特色あるRYLA (37回長崎RCの観光フィールドワーク、38回伊万里RCのHUG避難所運営、39回多久RCの論語で学ぶ等々) が行われていることは意義深いことだと考えます。

今年は4月20日(土)、21日(日) 島原南RCのホストのもと「このRYLAが君を変える」というテーマにて開催されます。多くのロータリアン、青少年の参加をお願いします。



国際ロータリー第2740地区 2018-19年度 補助金管理セミナー報告

補助金委員長 隅 康二 (佐賀西RC)

ロータリー財団・補助金管理セミナーが、2019年2月3日(日)に諫早市のL&L ホテルセンリュウにおいて開催されました。福田ガバナー、千葉ガバナーエレクトをはじめとする地区役員および西川財団委員長をはじめとする財団の各委員会担当委員、並びに次年度の各クラブ会長、幹事、R財団委員長など120名の会員の皆様にご出席いただきました。

西川財団委員長：国際ロータリーとして、財団全体の概況、世界における補助金事業の流れについて解説され、2740地区における活動状況が報告されました。

隅補助金委員長：財団の補助金のシェアシステムについての解説と、地区補助金事業を行う場合のタイムスケジュール、申請の手順について説明が行われました。

岡村資金管理委員長：事業報告の手順について、今年度の事業実例を示しながら、収支の記入方法、領収書や通帳の報告方法、事業の写真や新聞などに掲載された記事の貼付方法など、具体的な説明が行われました。

古賀資金推進委員長：クラブから本部への送金タイミングの重要性とロータリーカード使用の利点、寄付促進の意義についての説明が行われました。

喜多財団奨学委員長：現在の2740地区における奨学生応募状況などの報告と、今後の奨学生推薦、応募の手順についての説明が行われました。

学友・片岡一生様：2740地区よりグローバル補助金奨学生として英国へ派遣された留学体験と、現在の仕事に結びついたプロセス、国際的なネットワーク作り、今後のキャリアプランなど報告をいただきました。また、当地区で計画されているグローバル補助金事業(ネパールにおける水と衛生改善プロジェクト)についての支援と進捗状況なども伝えられました。



補助金セミナーの様子

唐津中央RC創立25周年記念式典

実行委員長 宮丸 典子

「春は名のみの風の寒さや」と早春賦の歌が聞こえてきそうな、春の訪れを感じる2月8日(金)、ホテル&リゾート 佐賀唐津にて創立25周年記念式典並びに祝賀会を開催いたしました。

当日は、唐津市長 峰 達郎様、福田金治ガバナー、宮島傳兵衛パストガバナー、川添信雄ガバナー補佐、増本一也地区幹事、第4グループの各会長幹事、遠来より韓国・麗水閑麗ロータリー会長と会員家族様、多くのご来賓の皆様、公私ともにご多忙の中ご臨席賜り、盛大に執り行うことができました。

式典では、特別代表 本城好春様の追悼でその功績を忍び、創立25周年の歩みをかみしめました。

この度の記念事業として、地域貢献・青少年育成をテーマに、唐津市教育委員会へ「テント&セット8張」寄贈(市内の学校を地域別に8ブロックに分けてある為)。去年の酷暑もあり、熱中症対策の上でこの寄贈は非常に喜ばれ、活用していただくことになります。

引き続き行われた祝賀会では、美味しい料理と美酒を食しながら、お客様や会員同士の親睦友好が図られたのが、最高のおもてなしになったのではないかと自負しております。

3月9日にIMも控えている日程の中で、実行委員会を立ち上げアイデアを出し合い、会員の協力を仰ぎながらより善い式典、祝賀会にすべく進めてきた手作りの25周年ではなかったかと思えます。

我がクラブは、平成に生まれ育ち、平成最後の今年に25周年という節目を迎えました。まだまだ若い当クラブではありますが、伸びしろの大きいこれからの成長・発展に向け努力していく覚悟と、新年号のもと心新たにロータリーの精神をしっかりと引き継ぎ、更なる活動の充実を目指し、力強く取り組んでいくメッセージを発信した式典になったと思えます。これからも、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いして、報告といたします。



北松浦RC創立50周年記念式典

第50代会長 横尾 成人

当クラブは、旧北松浦郡6ヶ町(佐々町、江迎町、吉井町、小佐々町、鹿町町、世知原町〔現在、佐々町を除く5ヶ町は佐世保市に編入〕)をエリアとして佐世保RC様をスポンサークラブに仰ぎ、1969年1月14日創立、同年3月3日、国際ロータリーより正式承認を受け、チャーターメンバー25名で発足いたしました。

チャーターメンバーとして健在の御厨成宏会員をはじめ、本日まで178名の入会者がありました。現在は、26名の会員です。平均年齢は、昨年7月1日時点で62.96歳です。

50年の歴史を振り返りますと3名の分区代理を輩出し、その中の御厨成宏会員は、今でも例会に出席され、後輩の良きアドバイザーとして活躍しておられます。また、その後、2名のガバナー補佐を輩出いたしております。

記念式典は、平成31年2月16日(土)に佐世保市江迎地区文化会館インフェニスタ 大ホールにて行われ、ロータリークラブ外からの来賓として朝長佐世保市長、古庄佐々町長をはじめ、当クラブにご縁のある地元有志の外部団体代表の方々、北松浦RC、OBの方々、また、ロータリークラブからは 福田金治2740地区ガバナーをはじめ、安増米山奨学会理事、千葉ガバナーエレクト、第5・第6グループの各ガバナー補佐をはじめ、各クラブの会長、幹事様、遠くは韓国釜山から姉妹クラブの釜山東南RC様、総勢100名を超える方々に出席していただき、すばらしい式典を開催することができました。

参加していただきました皆様には会員一同こころより感謝をいたしております。この場をお借りしてお礼申し上げます。また、平戸RC、松浦RCの方々には全員登録をして式典にご参加いただきましたことも重ねてお礼申し上げます。

今回の50周年記念事業といたしまして北松浦RCより、米山記念奨学会に特別寄付100万円、佐々町でんでんパーク公園内に佐々町様より命名いただいた「子供たちの未来を刻む時計」のモニュメントを設置、佐々町のボランティア団体ニコニコクリーン佐々には、作業用ジャケット50着を贈呈することができました。

そして北松浦RCのスポンサークラブ佐世保RC様はじめ、各外部団体に感謝状、記念品を贈呈、該当する当クラブの会員に表彰状の授与を執り行うことができました。

式典終了後、記念撮影を終え、会場をサンパーク吉井に移動し、旧北松6ヶ町の各々の特産品を使用したすばらしいコース料理をいただきながら和やかな祝賀会を行うことができました。



第7・第8グループ合同IM開催報告

IM実行委員長 野田 孝則 (大村東RC)

去る2月2日(土)、2018～2019年度国際ロータリー第2740地区第7・第8グループ合同インターシティミーティングを開催いたしました。

今回の大会のテーマ「ロータリアン地域の中で」～まず、地域を語ろう、そして伝えよう～です。

開会式、石田賢二大会会長の点鐘で始まり、ご来賓で福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、栗林英雄パストガバナー、高城昭紀パストガバナー、宮崎清彰パストガバナーにご臨席を賜りました。

福田金治ガバナーには、開会式での挨拶を、栗林英雄パストガバナーには、閉会式での講演を、高城昭紀パストガバナーには、懇親会での挨拶を、宮崎清彰パストガバナーには、懇親会での乾杯を賜り、ご来賓の皆様には本当にお世話になりました。

ご講演に関しましては、お一人目は、『村嶋寿深子』さんです。ここ大村をプロの音楽活動の拠点として全国で演奏会を企画・公演されています。講演のテーマ「生活の中の音楽」と題してお話していただきました。ご本人は東京藝術大学声楽科を卒業後渡米され、オペラやユル・プリンナーと共演のミュージカル「王様と私」等、足掛け20年ニューヨークを中心に活躍され帰国後は約15年間カザルスホールスタッフとして活動され地元大村に戻られ、大村に恩返しをするために長崎県出身にこだわりプロの合奏団を作り上げられました。クラシック音楽や癒しの音楽、鼓舞してくれる音楽、親しみをもって音楽を取り入れられました。そのように生活の中には色々な音がありますと話していただきました。合奏団の演奏では、島原の子守歌・諫早

のんこの節・大村夏越音頭と心憎い演奏をしていただきました。

続いて、お二人目はスポーツを通じて活躍されている株式会社ジャパネットたかた創業者高田明社長で、講演のテーマ「夢持ち続け日々精進」と題して講話をいただきました。スポーツを通して社会奉仕。長崎を元気にすれば世界も元気になると話されました。いろんな格言を賜りました。

前向きにくよくよせずポジティブに、そうすれば道は開ける・ミッション(理念)が大事、パッション(情熱)を持ち続ける、アクション(行動)する。頑張ることと同じ価値観の人が集まり助けてくれる。人の縁を大事にし縁をつなげていく。プロセスの過程を大事に一生懸命に生きる。優しく伝える・間をとって話す・表情をもって伝える。伝えることの大切さ、今を頑張る、今を生きる、そして、愛と平和を伝えていきたい。さらに、お二人とも懇親会まで参加していただき、気軽に写真撮影に応じていただき、盛会の内に有意義な時間を皆で共有することができました。これをもちましてご報告いたします。



第9・第10グループIMのホストクラブを終えて

長崎琴海RC 会長 友岡 純一

わが長崎琴海ロータリークラブとしては、初めてのIM担当クラブとなりました。私にとっては会長年度にあたり、私自身が実行委員長を務めることになりました。役割分担はクラブ全員で行い、企画を練ってまいりました。そこで、駒井直前ガバナーにDLPとCLPについてお話をいただき、また増崎長崎大学病院長に長崎の医学の歴史についてお話をいただきました。その後には、第9・第10グループ全12クラブを訪問しての各クラブ紹介と、それぞれの社会奉仕の紹介をいたしました。

CLPについては充実した内容で実施されているところもありますが、まだまだこれからというところもあるのではないのでしょうか。公共イメージアップは、特にこれから強化されるべきではないかと考えております。さらに会員一人一人にその中身が浸透して行くためには繰り返し学び、討論し続ける事が必要ではないかと思っています。

増崎先生のお話では、医学の発達が人々を病から救い、苦痛を和らげ、さらに長寿へとつながって行くこと、この日本の医療技術・医療設備が発展途上国(特にアジアの各国)に広がっていくことを望まずにはいられませんでした。まだまだ救える命もたくさんあると思います。

各クラブの紹介では、それぞれのクラブが熱心に社会奉仕を実践実行なさっていると再度実感しました。ロータリーの基本は社会奉仕にあると考えます。そして地区大会やIMなどを通じて懇親を深め学び、一人一人の向上がさらに進んでいくことを願っております。

コ・ホストを務めてくださった長崎RCを含め、多くのクラブの皆様へ、盛会のうちにIM開催ができましたことを御礼申し上げます。このような大役を務めることができ、充実した気持ちでおります。心より感謝申し上げます。



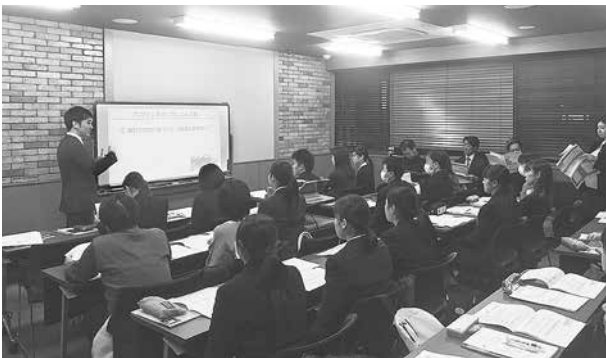


ハワイ短期留学プログラム 第1回オリエンテーション

ハワイ短期留学委員会 副委員長 安部 雅隆

2019年1月22日(火)、国際ロータリー第2740地区 2018-2019年度地区大会記念事業「ハワイ短期留学プログラム」に選抜された14名の高校生を対象に、第1回オリエンテーションを佐世保市内で実施しました。選抜された高校生にとっては昨年11月に開催された地区大会の表彰式以来の顔合わせということで、まだ若干の緊張感が包む会場でしたが、池田真秀委員長の挨拶に始まり、「留学の心得」「留学に際する注意事項」「『ESTA』等の申請手続きに関する注意点」を中心に説明がなされました。全体で90分という長丁場ではありましたが、高校生および保護者は熱心に耳を傾けており、加えて質疑応答の時間では様々な質問が寄せられ、今回のプログラムに対する熱意を感じた次第です。また、保護者からは、今回のオリエンテーションで不安が払拭できたという感謝の言葉をいただくこともできました。

次回のオリエンテーションは3月11日(月)に予定しており、現地での具体的スケジュールの提示の他、参加者の懇親を深める食事会も予定しています。



<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫通信 (373号) ～日本のロータリーの歴史より～

書 名	著者 / 出版社	発行年	ページ
温故知新 ロータリーの今昔	遠藤健三 D.263	1987	7P
<座談会>ロータリー文庫について	ロータリー文庫	1987	27P
ロータリー米山記念奨学会史〈第一章〉	米山記念奨学会	1992	31P
日本ロータリー史：1920～1971	直木太一郎	1971	37P
日本ロータリー再建の頃	ジョージ R. ミーンズ (元 RI 事務総長)	友1976/ 9月～	27P
満州におけるロータリー運動の展望	佐々木孝三郎	-	19P
朝鮮に於けるロータリーと第10年次大会を回顧して	佐々木孝三郎	-	11P

逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



福地 晋 会員 (多久RC)

逝去日：2019年1月1日 (享年89歳)
入会日：1985年6月28日
勤務先：有多久臨床検査センター 代表
クラブ役職：1986～1987年度 幹事
1996～1997年度 会長



宮島 省吾 会員 (唐津東RC)

逝去日：2019年1月9日 (享年70歳)
入会日：1989年7月14日
勤務先：宮島酒造(株) 社長
クラブ役職：2003～2004年度 幹事
2014～2015年度 会長
地区役職：2015～2016年度 月信編集長



西山 泰雄 会員 (有田RC)

逝去日：2019年1月12日 (享年75歳)
入会日：1993年12月7日
勤務先：共立エレックス(株) 取締役会長
クラブ役職：2005～2006年度 会長

新会員紹介

～1月入会～

私たちの新しい仲間になられましたの方々をご紹介します。

佐賀大和RC



わたせ ゆうや
渡瀬 友也 君
キャットハンドサービス
わた工房

唐津RC



とみた ひろき
富田 裕樹 君
(株)パティ
代表取締役社長

伊万里RC



しげまつ ひろあき
重松 宏臣 君
わかまつや化粧品店
代表取締役

伊万里西RC



ひやくたけ まこと
百武 誠 君
司法書士法人
ハート・トラスト
代表

伊万里西RC



ときさと まこと
時里 誠 君
有限会社 とき里
代表取締役社長

伊万里西RC



さいとう ただき
齋藤 忠之 君
TMS&カンパニー(株)
代表取締役

佐世保東南RC



ひろかわ ゆうすけ
廣川 祐輔 君
廣川建築設計事務所
代表

福江中央RC



いけだ ひでき
池田 秀樹 君
いけだ内科
院長

長崎東RC



なんぶ てるのぶ
南部 光伸 君
南部洋服店
四代目(職人)

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの
認証および表彰者リストに基づき寄付者
をご紹介します。

ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団 (1月)

■メジャー・ドナー

氏 名	レベル	クラブ名
千葉 憲哉	1	諫 早 北
医療法人社団 昭成会 岩永医院	1	長 崎 北 東

■マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

氏 名	レベル	クラブ名
千葉 憲哉	8	諫 早 北
原田 典範	1	諫 早 西

■ベネファクター

氏 名	クラブ名
医療法人社団 昭成会 岩永医院	長 崎 北 東

◆米山記念奨学会 (1月)

■米山功労者マルチプル

氏 名	回数	クラブ名
黒田 隆雄	9	諫 早 北
中嶋 久光	7	長 崎 北

第2740地区 2019年1月出席報告

2018年7月1日クラブ数 57 RC
2019年1月平均出席率 82.6 %
2018年7月1日会員数 2,236 名
(うち女性会員 91 名)

2019年1月末日会員数 2,246 名
(うち女性会員 95 名)
2019年1月入会者 10 名
2019年1月退会者 6 名



ハンブルグ: 忘れえぬ体験の舞台へ

riconvention.org/ja

ハンブルグは、新旧の文化が交わることで醸し出される独特な雰囲気をたたえた街です。フレンドリーな地元の人たちと接し、多彩なエンターテインメントを楽しめるこの湾岸都市が、忘れられない体験の舞台となります。